

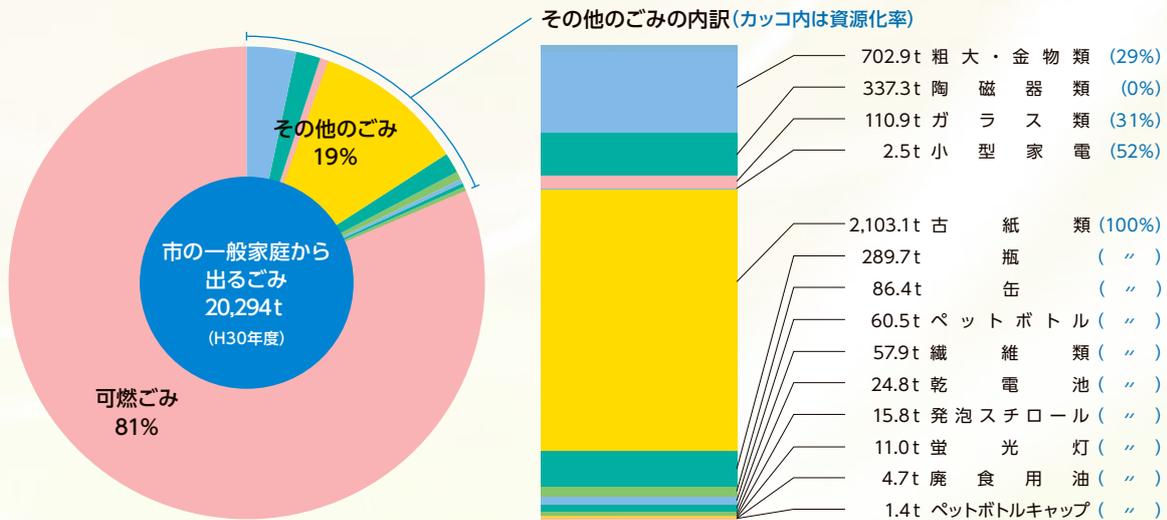
ごみを正しく出しましょう

～ごみのキレイが 未来のキレイ～



私たちが生活する上で必ず出る「ごみ」。近年リサイクルへの関心も高まり、また住環境に配慮した取り組みも多く行われていますが、一方で数多くの問題や苦情が生じているのが現状です。ごみに関する問題を解決するために、私たちにできることを考えてみませんか。

問合せ先 環境課



次のページからは「ごみ」や「資源」に関わる人たちを紹介します

可児市の一般家庭から出されるごみの年間総量は約2万トンで、市民一人が約200kg出している計算になります。

このごみの8割を占める可燃ごみは週2回、地区ごとの決められた収集日に、集積場から収集運搬業者によってささゆりクリーンパークへ運ばれます。可児市以外に可茂地区9市町村のごみも搬入されますが、可児市のごみが約半分を占めています。

可燃ごみ以外の多くは、市民の皆さんの協力や、ささゆりクリーンパーク内の仕分けにより、大部分が資源化されています。しかし、ペットボトルや古紙などが可燃ごみとして焼却されている現実もあり、今後もより一層のごみ削減や再資源化の努力が必要な状態です。



環境課 井藤